

少子化に関する県民意識調査結果（概要版）

1 調査の目的

愛知県の子育ての現状や少子化対策に関する県民の意識やニーズ等を把握するために調査を行い、次期少子化対策推進基本計画（子ども・子育て支援事業支援計画を含む。）策定のための基礎資料とする。

2 調査対象及び回答者数等

- | | | |
|-------------|------------------------|--------|
| (1) 調査対象 | 愛知県内に居住する20歳から49歳までの男女 | 3,000人 |
| (2) 抽出・調査方法 | 住民基本台帳等に基づく無作為抽出法・郵送調査 | |
| (3) 調査時期 | 平成25年10月21日～11月6日 | |
| (4) 有効回答数 | 1,387通（有効回収率46.2%） | |

3 調査内容

- | | |
|-----------------------|-------|
| (1) 少子化などに関する意識 | (8問) |
| (2) 子どもがいる人の子育てに関する意識 | (12問) |
| (3) 独身者の結婚に関する意識 | (3問) |
| (4) ワークライフバランスに関する意識 | (4問) |
| (5) 期待する少子化施策 | (5問) |
| (6) 調査対象者の属性 | (9問) |

4 結果のポイント（平成20年度前回調査との比較を中心に）

I 少子化などに関する意識

- 理想子ども数の平均は2.48人（前回2.57人）、予定子ども数の平均は2.07人（前回2.17人）と前回を下回っている。理想と予定子ども数の差は0.41人となっており、前回の0.40人とほとんど変化がない。

II 子どもがいる人の子育てに関する意識

- 平日男性が子どもと過ごす時間は減少（短時間の区分にシフト）しているが、休日は増えている。
 - ・平日男性「0～3時間」59.8%→75.2%、「3～6時間」27.4%→15.3%
 - 休日男性「9～12時間」10.8%→16.4%、「12～24時間」24.9%→35.5%

- 子どもが生まれてからの男性の時間の使い方について、夫自身の回答は、「友人との付き合い、趣味の活動時間を減らした」が40.8%（妻から見た夫の同数値については17.1%）、「これまでと変わらない」が26.0%（妻から見た夫の同数値については46.5%）であり、夫婦の意識に差がある。＜新規調査項目＞

- 利用してみたい制度としては『病児・病後児保育』が最も多く17.4%（前回17.1%、2位）。

III 独身者の結婚に関する意識

- 「結婚の意思がある」との回答は87.6%となっており、前回調査の87.2%と比較して大きな変化は見られない。

IV ワークライフバランスに関する意識＜新規調査項目＞

- 子育てする人が働きやすい原因としては「日常的に労働時間が長い」が49.9%で最多。

V 期待する少子化施策

- 結婚支援施策では「安定した雇用の提供」が58.3%で最多。＜新規調査項目＞
- 子育て支援施策では「児童手当等の経済的支援の充実」が46.4%と最多であるものの前回の63.4%から減少、「多様な保育サービス」・「育休をとりやすい職場環境」が増加。